

第 177 回 神戸市環境影響評価審査会 会議録

日 時	平成 30 年 11 月 12 日(月)14:00～15:30
場 所	環境局研修会館
議 題	平成 29 年度事後調査結果の報告 ・神戸サイト コ・ジェネレーションシステム設置計画 ・国営明石海峡公園（神戸地区） ・六甲北有料道路拡幅事業
出席者 27 名	◇審査会委員：9 名 太田委員，岡村委員，沖村委員，川井委員，島委員，武田委員，槇村委員 増田委員，山下委員
	◇環境局職員：7 名 斉藤環境保全部長，磯部環境保全指導課長，中村自然環境共生課長 他事務局 4 名 ◇事業者：11 名 コニカミノルタ株式会社 材料・コンポーネント事業本部 機能材料事業部 事業統括部 斉藤管理部長 他 2 名 国営明石海峡公園事務所 調査設計課 猿渡調査設計係長 他 2 名 神戸市道路公社道路管理部 宇野管理課長 他 4 名
公開・ 非公開	公開（傍聴人 0 名）

○開会

【議 長】 本日は、先生方にはお忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。

ただいまから、第 177 回神戸市環境影響評価審査会を開催します。

本日は、平成 29 年度の事後調査結果に関する報告を受けることになっています。

【議 長】 それでは、事務局、よろしく願いいたします。

【自然環境共生課長】 それでは、本日の資料を確認させていただきます。

《提出資料の確認》

【議 長】 それでは、神戸サイト コ・ジェネレーションシステム設置計画の事後調査結果の報告を行っていただきます。

事務局は、事業者を紹介してください。

《事業者の紹介》

【議長】 それでは、事業者の方より資料1について説明をお願いいたします。

《事業者より、資料1 神戸サイト コ・ジェネレーションシステム設置計画
事後調査報告書（平成29年度）概要版 について説明》

【議長】 ただいまの説明に対して、何かご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

【委員】 環境配慮をしていただいた結果、温室効果ガス排出量が事前配慮書における予測値以上に削減されており、大変好ましい結果だと思います。

1点確認させていただきたいのですが、32ページの表4-19の注釈で「『-』は削減量が増加することを示す。」と記載されていますが、削減量ではなく、排出量が増加するという意味ではありませんか。削減が増加するというのであれば、より削減されていることになるかと思えます。

【事業者】 ご指摘のとおりです。ただ、この表の項目としては「削減量」としたため、その値が増加する方向になる形になるので、このような記載にいたしました。

【委員】 そういう意味でよろしいのですね。同じように「2) 調査結果の検討」で、「電力及び都市ガスの使用量は平成26年度より減少している。」と記載されていますが、都市ガス使用量は減少していないのではないのでしょうか。

【事業者】 コ・ジェネレーションシステムの稼働に伴って既設の貫流ボイラー等の都市ガス使用量が減少しました。

事業所内の個々の施設のガス使用量までは把握できていないため、神戸サイト全体のガス使用量から二酸化炭素削減量を算出し評価を行いました。

【委員】 コ・ジェネレーションシステムだけではなく、事業所全体で評価されたということですね。

【事業者】 はい。それがコ・ジェネレーションシステムを導入した理由にもなっています。

【委員】 二酸化炭素削減量が27,290トンと非常に大きな数字ですが、神戸サイト全体の二酸化炭素排出量に占める割合はどれくらいになるのでしょうか。

【事業者】 本日は細かい数字を持ち合わせておりませんが、神戸サイトからの二酸化炭素排出量の約3割の削減につながったと考えております。

【委員】 7ページの図では、事業区域の真南に大気質の調査地点が設定されています。これはおそらく北風が卓越するという前提だったのだと思いますが、調査期間中の実際の風向を見ると北風はほとんど吹いておらず、南南西と西南西の風になっています。したがって、予測時の風と調査期間中の風が合致していたのか、つまり、この測定地点が適切だったのかという点が少し気になりました。

【事業者】 事前配慮書段階においては、西神大気測定局での年間を通じた気象条件から予

測した結果、敷地の南側に最大着地濃度地点が出てきたことから、この地点で調査することといたしました。調査日は供用前調査の調査日時と合わせるようにしましたが、予測時の風にならないと当日の調査を行わないということはなかなかできません。

また、必ずしも南風が多いから最大着地地点が北に出るといったようなこともなく、実際には大気拡散の影響なども受けています。

【委員】 たしかに、1週間の測定期間中に予測と同じ風向の風が吹くかどうか分からないということは理解できます。

ただ、予測時に着地予想のコンター図のようなものを作っておられると思いますので、それらのデータを活用して、調査期間中の風向が予測時の風向と異なった場合の最大着地濃度地点がどの程度ずれる可能性があるのかを確認しておいていただきたいと思います。

【事業者】 予測時と実際の気象条件がなかなか一致しないという課題はありますが、それとは別に、我々は日々、施設からの排出ガス濃度の監視を行っています。その結果、排出ガス濃度の値が予測値及び規制基準値を十分下回っていましたので、これらの結果も考慮すると、施設の稼働に伴う大気質への環境影響は小さいと考えています。

【委員】 ただ、今回で事後調査を終了されるとのことでしたので、先ほど申し上げた点に留意していただいてデータを見直していただければと思います。

【委員】 今回の調査で特定外来生物は確認されなかったのですが、今後繁殖する可能性も考えられますので、引き続き注意していただければと思います。

【議長】 ほかにご質問がないようですので、本事業に関する報告は終了させていただきます。

事業者の方は、ご説明ありがとうございました。ご退席していただいて結構です。

《事業者入れ替わり》

【議長】 それでは、国営明石海峡公園（神戸地区）の事後調査結果を報告させていただきます。

事務局は、事業者を紹介してください。

《事業者の紹介》

【議長】 それでは、事業者の方より資料2についてご説明をお願いいたします

《事業者より、資料2 国営明石海峡公園（神戸地区）事後調査報告書概要書（平成29年度）について説明》

- 【議長】 ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。
- 【委員】 この工事は、どのくらい続くのですか。
- 【事業者】 平成30年度も継続している出入口改良他工事については、11月末をもって終了する予定です。
- 【委員】 ギンランを移植されていますが、きちんと定着していますか。
- 【事業者】 平成30年度の調査で、移植した1株が確認できておりますが、移植地での定着は難しいかもしれません。来年度もモニタリング調査を行う予定です。
- 【委員】 他の新しい場所でたくさん生育してきているので、そういった場所の環境を把握して、同じ環境を作ってあげるほうが自然に生育できて、変に移植するよりもいいのではないかと思います。
- 【委員】 鹿はどのくらい出現していますか。
- 【事業者】 今年度の捕獲頭数は、現時点でシカ10頭、イノシシ23頭になります。捕獲頭数は多いですが、NPOの方の話では、目撃情報はかなり減っているようです。
- 【委員】 イノシシより鹿のほうが植物に対する被害が大きいのので、今後も対策を継続していただきたいと思います。この場所で増えとかなり大変なことになります。
- 【委員】 工事前の確認調査結果で、「フナ類（ギンブナの可能性がある）」と書かれていますが、種の同定まではできていないのでしょうか。
- 【事業者】 この池は工事のために全て水を抜いたので、確認された生物を全て移植しました。大きな個体はギンブナと同定できましたが、小さな個体はなかなか同定できませんでしたので、フナ類とさせていただきます。
- 【委員】 ギンブナはクローン繁殖をします。池にいるギンブナを全て移送したのであればあまり問題はないのかもしれませんが、移植先の環境で生き残る個体と適応できない弱い個体がいったりすると、移送後に遺伝的な組成が変わることがありますので、フナの場合は十分に注意していただく必要があります。
- 形態で同定するのが難しく大変だということは分かりますが、最近では、魚のDNAを扱っている人であれば、簡単にバーコーディングで同定してくれるはずです。魚類の専門家や淡水魚の専門家、DNAの研究者に相談すれば、いろいろとノウハウをお持ちだと思います。
- 最近の研究では、群れによってクローン個体と自然繁殖個体の複合度合いが少しずつ違っていて、それによって、生態系の中で占めている地位や、食物網の中の役割が違うことがありますので、少し配慮していただいたほうがよいと思います。
- 【議長】 ほかにご質問がないようですので、本事業に関する報告は終了します。事業者の方、ご説明ありがとうございました。ご退席いただいて結構です。

《事業者入れ替わり》

- 【議長】 それでは、六甲北有料道路拡幅事業の事後調査結果の報告をしていただきます。
事務局は、事業者を紹介してください。

《事業者の紹介》

- 【議長】 それでは、事業者の方より資料3について説明をお願いいたします。

《事業者より、資料3 六甲北有料道路拡幅事業 平成29年度事後調査報告書【概要版】
について説明》

- 【議長】 ありがとうございます。
ただいまの説明に対して、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。
- 【委員】 キンランは、17株を全て移植されたのですか。
- 【事業者】 掘削範囲及び作業員が踏むと考えられるエリアに生育していた17株全てを移植しました。
- 【委員】 4月に移植された後はどうなっていますか。
- 【事業者】 1年後の平成30年度調査においても移植した同じ株数の生育を確認しました。調査結果は来年度報告させていただきます。
- 【委員】 なかなか移植は難しいと思います。移植したときは出てきても、後が続かないことが多いので、環境整備をしっかりやっておいていただきたいと思います。
- 【委員】 貴重鳥類として鳥3種が出てきましたが、この鳥3種以外に、貴重種と言われるような動物は確認されていませんか。このあたりは、例えばタカチホヘビとかシロマダラが結構いると思いますが、そういった種は見つかっていませんか。
- 【事業者】 昆虫については、カトリヤンマやコバネササキリ等を確認しましたが、湿地環境に生息する種等であり、今回の工事の影響を受けるようなところに生存するような貴重種はいませんでした。
- 【委員】 小動物道路侵入状況調査について、調査の時間帯がかなり限られていますが、これは朝方ということですか。
- 【事業者】 小動物がひかれて死骸となった場合、カラス等が死骸を持っていく可能性がありますので、カラスが動く前の朝方を狙って調査をしております。
- 【委員】 逆に、日中にひかれた死骸が、夕方までにカラスに食われることもありますか。
- 【事業者】 日中は交通量がかなり多いため、日中でカラスがついばめる時間帯はないと考えています。

【委員】 別のところで道路における轢死調査をやったことがあります、交通量が多いと車にひかれて、形がよく分からなくなって、特に小動物は消し飛んでしまうことがあります。そのため、カラスの行動を考えられていることは非常に素晴らしいと思います、できれば、少し違う時間帯にもう1カ所ぐらいは調査したほうがよいと思います。

特に、地表徘徊性の昆虫や陸貝やトカゲといった動物がどれくらい路上死しているかということ把握しようとする、もう1時間帯ぐらいは入れてもいいように思います。

【事業者】 分かりました。昼間の時間帯につきましては、工事請負業者の作業員が常に現場に詰めていますので、聞き取り調査等を実施して、その結果を事後調査報告書に記載させていただきます。

なお、工事請負業者には、普段から小動物の乱横断に注意するよう言っておりますので、今のところ報告がないということはおそらく大きな轢死等は昼間も発生していないと考えております。

【委員】 人間は侵入防止のつもりで侵入防止フェンスを作りますが、一つ間違ると、その場所に侵入した生物が逃げ出せなくなってしまうことがあります。西表島でヤマネコが道路に出てひかれるので、何とかしないといけないということでフェンスを作ったところ、路上に出てしまった動物が逃げ込ようとしても逃げられなくなる逆の効果が出たことがあります。そのため、外からは入りにくいけれど、中に入った動物は比較的脱出しやすい構造のフェンスを作りましたが、今回はそのようなことを考える必要はないですか。

【事業者】 今回フェンスを設置した区間は、動物の侵入防止も目的の一つですが、人間の侵入防止も兼ねています。明らかに人が入って来ない場所については、フェンスを設置していませんので、そういった場所から動物が戻れるものと考えております。

【委員】 20ページのイで「環境審議会において」と書いてありますが、この会議は「環境影響評価審査会」であって、神戸市における環境に関する審議会としては、別に環境保全審議会がありますので、正しい言葉に直していただいたほうがいいかと思います。

【委員】 三田市のほうでも、かなりナラ枯れの被害が出ているのではないかと思います、そういった影響は出ていないでしょうか。

【事業者】 今のところ、この道路周辺ではナラ枯れは確認されておられません。

【議長】 ほかにご質問がないようですので、本事業に関する報告は終了いたします。事業者の方、ご説明ありがとうございました。ご退席していただいて結構です。

《事業者退席》

【議長】 本日の審議は以上です。今後の予定について、事務局より説明をお願いいたします。

【自然環境共生課長】 本日、委員の皆様方からいただきました意見につきましては、今後の事後調査に反映させるように事業者に指導してまいります。
これもちまして審査会を終了いたします。